

京橋の印刷

1月15日1978・No.1

発行所
 東京都印刷工業組合
 京橋支部
 〒104 東京都中央区新富1-16-8
 日本印刷会館3F 電話 552-1855
 印刷所 八千代印刷株式会社

京橋の創架は慶長年間水上輸送のため堀られた川に年代は不明であるが日本橋と同時だろう、名称は寛永の豊嶋郡江戸庄図・承応の武州古改江戸之図・明暦の新添江戸之図などの古絵図や地誌には京橋とあるが、名称の由来は明かでないと中央区史に記されている。写真は明治8年架替えられた石造単アーチ橋の親柱、橋名は明治の詩人佐々木支陰の筆とある京橋記念碑。(橋は昭和34年京橋川埋立により撤去となり上を首都高速一号線が通っている)



謹賀新年
 祝創刊

京橋支部顧問・相談役・参与の会

- | | | |
|-----|--------|--------|
| 顧問 | 高橋 与作 | 正進社印刷 |
| 顧問 | 伊坂 一夫 | 伊坂美術 |
| 相談役 | 荻野 義博 | 荻野印刷 |
| 相談役 | 先川 道三 | 先川印刷 |
| 相談役 | 花崎 仁実 | 大東印刷工芸 |
| 相談役 | 市川 仁作 | 三和印刷社 |
| 相談役 | 中村 謹吾 | 日本精版印刷 |
| 相談役 | 斎藤 喜徳 | 斎藤正文堂 |
| 相談役 | 白橋 龍夫 | 白橋印刷所 |
| 相談役 | 片岡 義郎 | 共立印刷 |
| 相談役 | 石沢 幸之助 | 石沢印刷 |
| 参与 | 瀬川 昇 | 昇寿堂 |
| 参与 | 荒川 隆晴 | 三荒印刷興業 |
| 参与 | 池宮 義久 | 三進印刷 |
| 参与 | 大竹 次郎 | 大竹印刷 |
| 参与 | 榎本 栄七郎 | 榎本印刷 |
| 参与 | 荒井 政吉 | 荒井美術 |
| 参与 | 加瀬 文吉 | 文寿堂印刷 |
| 参与 | 森岡 元雄 | モリイチ |
| 参与 | 松岡 繁夫 | 文海堂 |
| 参与 | 柴沼 四郎 | 熊谷印刷 |
| 参与 | 小山 英美 | 高千穂印刷 |
| 参与 | 児玉 正己 | 信濃印刷 |
| 参与 | 大橋 忠治 | 東銀座印刷 |
| 参与 | 土井 嘉光 | 土井印刷 |
| 参与 | 小葉 忠昭 | 小葉印刷 |

「京橋の印刷」創刊号

発行によせて

東印工組京橋支部顧問

伊坂一夫



「京橋の印刷」が創刊された事を心からお喜び申し上げます。

五年前荒川

支部長の時、支部長を初め多くの同志のご協力によって、支部創立五十周年を記念して立派な「京橋の印刷史」が刊行されました、印刷の渡来から京橋地区工業の誕生の姿を伝え、百年に及ぶ印刷産業の発達と業界の変遷及び諸先達のご指導の有様を詳に記述し、之を後世に貽す大事業でありました。

今回の「京橋の印刷」の創刊は永年の待望であり、それに比べて優るとも劣らぬ大事業であります。売上高に於ても、組合員数に於ても、都下一、二位に位置する当支部としてその趣旨を支部員一同が理解し、「京橋の印刷」を柱に一層団結して力を合はせ育成してこそ初めてその目的が達成されると思います。印刷は日進月歩で進み、多様化して来て居ります。新しい技術、新しい需要が

生れて来ます。京橋の印刷界は商業印刷を主に、広く社会の要望に応えて行かねばなりません。万が一にも得意先の問合せに「知りません」「出来ません」と答えるならば自分自身で会社の発展にストツプをかける事になると思います。この

支部報発刊を祝す

東印工組京橋支部顧問

荻野義博



過般久保田 支部長から、京橋支部で「支部報」を発行する事になったので、

何か書いてくれと原稿用紙を渡されたが、浅学非才の私には苦手ですが「支部報」の発行は支部発展のため大変結構なことと思ひ、駄馬に鞭打って予定されたスペースを埋める事にしました。

いま組合の本部で「東京の印刷」を毎

日に於ても「京橋の印刷」が指針を示され、新しい情報を伝え、支部の向上発展と支部員の融和に巨大な力を發揮されん事を切望いたします。終りに皆様の御隆昌と「京橋の印刷」の発展を祈ってお祝いの言葉といたします。

本来このスペースは支部育ての親、高橋顧問殿にお願いすべきですが、病後ご静養中で代役が廻って来ました。一日も早く御全快の上、更めて顧問の御健筆を皆様と共に頂ける日をお待ちいたします。

月組合員に送付し、業界に於ける諸問題を討議し、或いは調査研究し、その結果を報告しているが、それが組合員に充分徹底しているかどうかが問題とされています。

支部は支部の実状に則して検討もし、ときにはその徹底をはかる為の「支部報」の役割は洵に大きいものがあると認めます。

日常所用に追われ時間的に余裕のない忙がしい中で支部の諸行事を実施遂行し、更らに此の度「支部報」の発行に踏

み切った現執行部の熱意に対し深甚なる敬意を表します。

だいぶ以前に当時の役員の中から、「支部報」発行の意見が出た事もありましたが、支部の行事運営上ついに立消になつて終つたが、現執行部によつて実現され洵に欣びに堪えません。

さて昭和五十三年の新春を迎え、皆様お目出度うございます。ともあれご健勝で新年を迎えました事は、この上もない俸せと申さねばなりません。然し本年も見透しは決して明くないと言われます。毎日の新聞、テレビ解説等では暗いニュースが多く、明るい話は余り有りません。然し乍ら一年一二ヶ月のうちにも寒い時も、また暖い時もありまして、寒いときは風邪を引かぬよう心掛けて、寒いときに、吾々の経営も風邪を引かぬように、日頃から経営の健全化をはからなければなりません。

いま組合本部はこの不況を打開するために業界の安定成長計画を立て、その啓蒙指導に當つて居ります。私達は今後経済の動向をよく見極め、如何に対処すべきかを考えてゆかなければならないと思ひます。私は斯う思ひます。いま組合が安定成長計画の中で、各組合員に求めていることは、原価を割つた過当競争を避け、そして組合員の協調、団結、それが少しでも実現することが出来るならば、彼方の雲の切れ目から必らず明るい陽が射すものと思ひます。(盲言多謝)

「京橋の印刷」発刊に当って

支 部 長 久 保 田 幸 一 郎



明けましておめでとうございませう、と申しあげると、何か申しわけのないよう

な気がする昨今でございますが、とにかく新春を迎えることができませんでしたは大変幸せなことであります。

京橋支部の組合員の皆様には当支部運営につき常に格段のご指導とご支援を賜わっておりまして誠に有難く紙上をかりて当執行部員一同厚く厚く、御礼を申し上げる次第でございます。

お陰さまで大過なく今日まで消光し、残る任期の三ヶ月も従来以上に頑張りたいと考えているわけでございませう。さて、当支部はご承知の通り他の支部に比べますと、地域の狭いところに多勢の組合員が事業を営んでおりますことは、特異性とも申しませうかそのため、歴代の支部担当者が支部報を作るならば招集をかけるか、案内書を配布した方が手取り早いとお考えになつたので今まで出来なかつたのではないでしようか。

しかし、昨今のような大不況下におか

れている時こそ、このような支部報を配り業界の現状を把握したり、これから進んで行く方向を推測したりして各個の事業所の未来の道を模索していただき、更に支部内の縦横の繋りと親睦を深めることが出来ると思はばどんなに素晴らしいことではないでしようか。

地味ではあるが大切な事業

東印工組厚生委員長 石 澤 幸



明けましておめでとうございませう。

旧年中は格別の御指導御協力を賜り厚

昨年九月二三日から二泊三日の日程で本部編成の文化典旅行団に参加した、相憎くの両空であったが久保田支部長を団長とすると一行五二名和氣瀧々だ、同業者のこととしてすぐに親しく話を交しつつひかり号で岡山へ、宇高連絡船で高松へ到着、バスに分乗屋島、栗林公園、琴平神社へと強行軍、花壇へ宿泊。翌二四日早朝から高松印刷センターを見学し目指す市民センター到着、文化典大会へ参加した。参加することに意義があるわけで午後二時再びバスで宿泊地松山へ向つた。大会宣言その他の詳細は日本の印刷をご覧下されば幸です。

四国香川文化典に参加して

紙面の関係上この程度でお許しを。(KK生)

着実な推進を計って行きますことは勿論であります。組合員の方々のきたんのない御意見を賜り、至らぬ点は改め社会情勢に見合った厚生事業の充実を期して行き度いと思つております。私共組合員は中小企業と申しませうも小企業者が七〇%を占めております業界であり、国の小企業共済事業団、中小企業退職金共済事業団等がありますが、それとても充分ではありません。組合員の皆様の良識ある理解と相互扶助の力に依つて福祉厚生

の面でも今迄よりも幾分でも向上することが出来ませう様最善の努力をいたし度いと思つております。

併しながら業界の発展なくしては、厚生事業の充実もあり得ないと思ひます。私共の組合は平等であり、自主的に組織し、自主的に運営することを立て前としておるわけですが、組合のルーツは、相互扶助の精神であると思ひます。小異を捨てて大同につくと申しませうか組合員の真の協調が大切な時機ではないでしようか、お互いが協力協調を計つて行くことが業界の発展につながり延いては厚生事業の充実への道であると思ひます。私は厚生事業を通じて一層の団結を計り共存共栄への道を歩んで行き度いと思つておりますので、組合員の皆様の厚生事業に対する御支援と御協力をお願い致します。今年も皆様が益々御健康で皆様の企業が発展されます様御祈願申し上げます。京橋の印刷発刊をお祝い申し上げます。

委員会の活動

安定成長計画の推進

昨五二年三月をもって印刷業構造改善事業は終了し、新たに全印工連の策定した「安定成長計画」を、京橋支部はその啓蒙と計画実施の一環として、昨年八月一九日全印健保会館において、千代田、日本橋支部の三支部合同の説明会を開催しました。講師として本部坪井副理事長、斉藤計画推進委員長が約二時間に亘って説明、解説をおこなわれた。質疑に入りファストプリンテングについての質問のみであったことは、配布されたパンフの理解がまだ良くされていない点もあり、後日支部ならびに本部に質問を寄せただけで終了した。

京橋支部の安定成長計画の取り組みについては、権改の場合のような税制金融等の恩典や助成が無くとも、この計画を理解し推進することにより、低成長経済下に印刷業界の環境の認識と、企業体質の改善、経営における付加価値の向上等による、経済変動に対応できる大きなメリットとすることができると考え、具体的な計画推進については、第二回パンフが配布されましたので、その理解と啓蒙を重点に支部において説明会を開催し、組合員の計画参加の意志調査を実施いたします。支部組合員のご協力を年頭に当りお願い致します。

公害防止対策委員会から

東印工組の公害防止対策委員会は、松本一磨新宿支部長を委員長に三六名の委員で構成され、当支部からは、私と銀座地区長の児玉昭太郎氏が参加して居ります。原則として月一回委員会が開催され、騒音、振動、水質汚濁、大気汚染、産業廃棄物、及び悪臭問題などに取組んで居ります。又、特に対象を印刷インキの空缶の処理にしばった、印刷産業廃棄物処理対策協議会が昨年一月に設置され、印刷インキ工業会の代表と月一回折衝を始めました。

公害防止のために、国や東京都は年を追う毎に規制を強めて居り、又地域住民からの当業界に対する苦情もエスカレートして来て居ります。他支部の委員の話によりますと、区役所からの指導なども非常にきびしく、除害施設の設定費もかなり経営を圧迫して居るとの事です。

当委員会としては、迅速に情報を提供して、組合員の皆様が、突如思いがけない事態を招く様なことのない様にし、又関係機関への折衝も出来るだけ支部の組織を活用して、皆様に余分のお手数を掛けない様に心掛けて居りますが、何分にも慣れない事なので、いろいろな御迷惑をお掛けした事をお詫び致します。

公害防止対策委員 瀬戸恭平

小企業の向上発展のために

五三年の新春を迎え組合員の皆様おめでとうございます。

昨年は支部運営並びに小企業振興対策委員会には何かと御協力を賜わり有りがとうございました。

この度京橋支部に支部報が発刊される事になり喜びにたえない次第です。

さて、ここ昨今の不況下において、私共小企業者にのしかかる重圧の波は厳しさを増すばかりで、新しい年を迎えたものの樂觀を許さない情勢です。

小企業はややもすると孤立しがちな立場にあります。常に横の連携を深めると共に、組合に関心を持ち、企業の向上を計ると共に協調と団結の心で臨む事が必要と痛感致している次第です。

然し小企業は体質的に非常に難しい多くの問題を抱えている訳ですが、それはそれとしておき、共通して言える事は一人一人が声を出し、主張、提案をしてこそ企業を発展させ、また、業界を向上させる事ができるのではないかと考えます。

支部報を発刊するにあたり、大いに、企業者の方々の意見を出す場として、活用して戴ければと思っております。

今後共小企業振興対策委員会をよろしく御願ひ申します。

委員会の活動

武村健司

謹賀新年 祝創刊

東京都印刷工業組合京橋支部

支部長 久保田幸一郎 東京真宏印刷所
副支部長 石曾根啓悦 八千代印刷所

瀬戸 恭平 昇 寿 堂
武村 健司 光信 印刷所

小倉 武治 相互 美術 印刷所
石川 毅 一 南一星社印刷所

三好 正 三好印刷所
三好 正 三好印刷所
(代行菅野源吉)

地区長

京 橋 小宮山敬之 小宮山印刷所
銀 座 児玉 昭太郎 京 屋

新 富 浅野 秀夫 法 文 社
築 地 柴沼 四郎 熊谷印刷所

入 船 山内 晴夫 錦光雄社印刷所
漢 森 山 道太郎 錦蓬菜屋印刷所

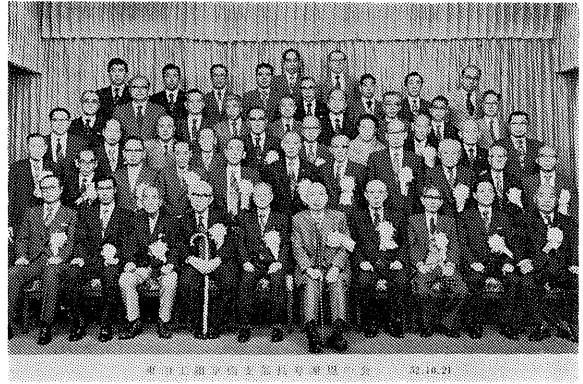
八 丁 堀 白橋 達夫 白橋印刷所
新 川 中庭 利男 中庭印刷所

月 島 石 井 武石 井印刷所
地区幹事

京 橋 坂田 利正 秀英堂紙工
銀 座 長島 伸行 長島印刷所

森 山 哲雄 一誠堂
松岡 誠一郎 文海堂

新 富 神林 克明 神林印刷所



長寿謝恩の会を開催

支部では昨年一〇月二一日京橋会館で長寿謝恩の会を開催した。該当は七〇才以上ということで五八名のうち二五名と、協賛された組合員が二〇数名それぞれ役員等で六〇余名の会合だった。

支部長の挨拶に続き来賓の矢板理事長ほかから祝辞が述べられ、一人毎に支部長から記念品を手渡された後、石沢常務理事の音頭で乾杯をして歓談に入った。

次いで橋の円、桂伸治師匠の落語二題あり皆熱心に聞き入っていた。中座する方もなく大変なおよろびで、齋藤常務理事の中締で会を閉じた。

齋藤常務理事

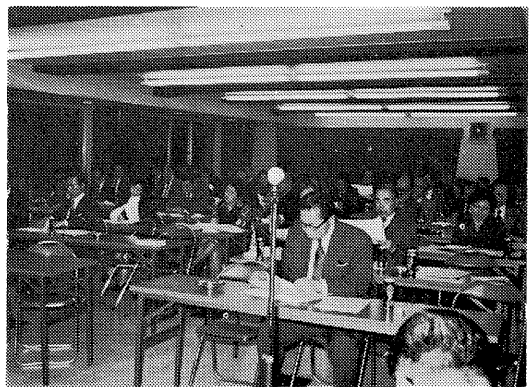
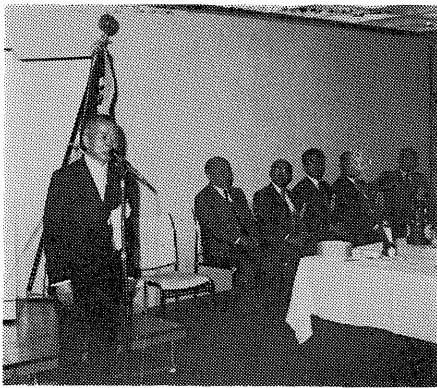
労働大臣から功労彰

職業訓練関係功労者として、労働大臣表彰を受けた東印工組常務理事・齋藤喜徳氏(齋藤正文堂社長)の「表彰祝賀会」が支部主催で、去る一月七日午後六時より京橋会館で盛大に行なわれた。

久保田支部長より齋藤氏の略歴が紹介され、わが国活版界の後進の育成に今後とも活躍をお願いし、記念品が贈られた。

つづいて本部矢板理事長、製本工組染野京橋支部長などから祝辞が述べられたのち齋藤氏の謝辞があり、その後、同氏を囲んで祝賀パーティに移り、なごやかに歓談の時がもたれた。

最後に同氏の出身地区入船を代表して水野写真工芸印刷所社長の音頭で万才三唱がおこなわれて散会した。



恒例本年度第二回

税務研修会を開催

一月二二日印刷会館講堂で支部恒例の本年第二回の税務研修会が開かれた。参加者は約六〇名、まずスライドによる同族会社の税務処理のあり方の上映、京橋税務署法人第一部門齋藤統括官の挨拶、法人税源泉所得税第九部門高橋統括官の申告の概要と要点についてに続き、京橋法人会緒方専務の活動報告があり、最後に法人第一部門石原申告指導官が役員の報酬・賞与・退職金等の税務処理と改正税法の解説があり、当日出席できなかった組合員にも会計事務所任せでなく研修に参加されるように指導があり、出席票が税務署に提出された。

謹賀新年 祝創刊

地区幹事

- | | | | |
|---|-----|-----|---------|
| 築 | 地堀江 | 和雄 | 秀江堂印刷 |
| | 春原 | 新松 | すのほら印刷所 |
| 入 | 鈴木 | 孝 | 備すずか印刷所 |
| | 船小筆 | 正敏 | 小筆印刷 |
| | 尾賀 | 正昭 | 尾賀印刷 |
| | 武井 | 式人 | 青雲舎 |
| | 加瀬 | 英雄 | 文寿堂印刷 |
| | 大沢 | 将宏 | 大沢印刷 |
| | 奥村 | 孝道 | 備オクムラ印刷 |
| 湊 | 長島 | 一磨 | 大秀社 |
| | 篠倉 | 鉄郎 | 第一印刷 |
| | 田村 | 平太郎 | ニード印刷 |
| | 田島 | 弘聖 | 文社印刷 |
| | 木藤 | 健治郎 | 三豊社印刷 |
| | 寺町 | 圭世 | 備光文堂印刷 |
| | 八丁堀 | 山口 | 由紀 |
| | 三田村 | 桂太郎 | 三田村印刷 |
| | 大橋 | 国男 | 備大橋印刷 |
| | 河野 | 秀衛 | 備国際印刷 |
| 新 | 川小泉 | 健次 | 備中央社 |
| | 朝川 | 真三 | 備朝川印刷 |
| | 宇野 | 賢一 | 宇野印刷 |
| | 永井 | 十四男 | 永井印刷 |
| | 吉田 | 孝雄 | 備吉田印刷 |
| | 荒川 | 龍治 | 誠文社印刷 |
| | 小池 | 馨安 | 信製印刷 |
| 月 | 岩本 | 久人 | 支部専従書記 |

凸版印刷と平版印刷

東印工組計画推進委員長 齋藤 喜徳



長計画を推進し、中小印刷業界の安定と発展を期そう。をスローガンに業界運動が進められています。

私共の京橋支部も永い伝統と組合員各位の堅実な経営に依って、この不況時を乗切っておりますことは、誠に御同慶なことで御座います。現在、世界的に印刷方式が凸版から平版方式に流れて居ります。米国に於ては、商業印刷物は一九六六年には凸版四五%、平版四六%の比率が一九七五年には凸版三一%、平版五六%と変化して居ります。我国の場合にも、今回の構改の実態調査で、生産指数で凸版は二九・四%、平版は五七・二%でその生産指数は凸版の約二倍となつて居りますが、これに従事している人員は、凸版一四、三〇七人、四四%、平版一五、八〇五人、四九%となつています。平版は凸版に比較して機械の設備投資は高いですが、殆ど稼働人員が僅の差で生産が二倍になっていることは、色々の問題を業界に投げかけています。

印刷業の構造改善事業が本年三月末を以って終了し、全国をあげて、安定成長計画を推進し、中小印刷業界の安定と発展を期そう。をスローガンに業界運動が進められています。

平版印刷の国といわれる、アメリカの印刷業者の数では、凸版商業印刷業者が半分以上の数で一三、二〇〇社で、一社当りの従業員は約一〇人で、平版商業印刷業者は八、三八八社で一社当りの従業員は二二人であり、業者数では、凸版印刷業者が非常に多く、カナダ等ではこれ以上に凸版業者が多く、これが平版化に業界あげて努力しているようでありませぬ。

私共の京橋支部も、凸版業者一四〇〇社、平版業者四九社、平凸綜合型が一〇〇社で、凸版が約半々になっている凸版方式が全面的に悪いこともなく、活字の優位の部門もあります。従業者一人当り年間加工高を上昇させるためには、

組合員の皆様と考えてみたいと感じて居ります。

少しくなりました資料ですが
従業員一人当り年間加工高

(昭和四十九年)

大日本印刷 八八八万
凸版印刷 七三三万
共同印刷 五五七万
東京二〇〇〇〇八七社平均 四〇七万
東京平均 四〇三万

製本組合代表と懇談会

製本工業組合京橋支部と当支部との懇談会が、去る一月八日午後二時三〇分より五時までの二時間半に亘って支部事務所において開催された。

製本工組から染野支部長をはじめ城所、井上、中沢、岡田、窪島、中村、村松、島佐の製品別専門委員の各氏と、当

支部新年臨時総会のご案内

当支部新年臨時総会並びに新年宴会を左記によって開催します。お誘い合せのうえご参加をお願い申し上げます。

新年臨時総会

日 時 一月二日(土) 午後三時

集 合 同 四 時 開 会

会 場 箱根湯本富士屋ホテル(小

田急湯本駅前)

議 題 (1)支部規約

審議委員会設置の件

(2)次期役員改選銜衡委員選任の件

(3)その他

会 費

金壹万貳千円也

申 込 幹事さん経由で地区長さんへ。

支部より久保田支部長ほか部長、監査、地区長七名が出席した。はじめにそれぞれ支部長の挨拶があり、双方の出席者全員が自己紹介をおこなった。

先ず製本工組より景気不振による受注難の訴えと、製本組合員の専門分野(書籍、雑誌、教科書、ノート、手帖、帖簿、事務用品、その他)の規模、設備、能力などのほかに、製本業界とその従業員の地位向上について、健保における平均標準報酬は全印健保、政府管掌より下廻ると説明があり、京橋の仕事は他地区へ流れるのを防ぎ、京橋で消化できるように努力をしたい。また将来は受注センターの設置等も考えており、印刷側の便宜を計りたい。などの製本側の意見に対し、印刷側より専門的に突込んだ多くの質問や意見がだされ、和やかに懇談を終った。

「52年度、支部組合員の異動」

- 加入組員
 - 52・5・23 大日本ビジュアル株式会社 小沢勤
 - 52・7・23 株式会社企画、福盛忠弘
 - 加入準組員
 - 52・10・4 大丸印刷株式会社 東京営業所
 - 組合脱退
 - 52・4・11 大塚印刷所、大塚松次
 - 52・5・20 青葉印刷株式会社、須田金蔵
 - 52・6・10 三桂社、庄司美登利
 - 52・7・26 京橋南印刷センター 協組
 - 52・8・18 丸謹印刷株式会社、鈴木謙之助
 - 52・8・26 京橋入船印刷協同組合
 - 52・9・23 中央印刷センター 協同組合
 - 52・10・25 新興社、深沢大助

提 言

昨年一月八日の定例地区長会で、支部長から支部組合員の増強運動の推進を提案されました。

一月は支部の行事が五つもあって、多忙であったが、じっとしていても埒があかないので、兎にかく地区担当のK副支部長に同道を願ひ一日掛りで未加入同業者を廻ってみることにした。

とは言うものの始めての試みでもあり恐る恐る近所の平版業者を訪れたところ下請専門であり小企業であるとの理由で体よく断られてしまった。小企業である

月島地区長 石 井 武

からこそ皆んなで力を合せなくては成らぬのに、幸先が悪く気落ちしながら次へいくと、待ってましたと言わんばかりに「親の代から印刷をやっていた、組合の仲間に入りたかったが何処を尋ねて良いか解らなかつた」と感謝されて、直ぐさま加入が決つた。勇気付けられた勢で一〇社を廻つて五社新規加入と言う結果であつた。

当地区組合員は一社で支部内の最小単位組織であつたが、一六社に成つた年内には二〇社にと倍増の目標にした。

「京橋の印刷」広告募集

当京橋支部では、業界の推移、技術や営業の情報交換など組合員の便宜を計るために、支部報「京橋の印刷」を発行することに成りました。

就きましては時節柄誠に恐縮ですが、協賛広告にご応募くださいますようお願い致します。

協賛広告掲載料金

一段	天地 五〇耗	半年 (六回)	金六万円也
	左右 一四五耗	一ケ年 (十二回)	金十万円也
半段	天地 五〇耗	半年 (六回)	金三万円也
	左右 七〇耗	一ケ年 (十二回)	金五万円也

尚このほか大型の半頁・一頁広告は特にご相談申し上げます。
 図案・版下は実費頂戴いたします。

東京都印刷工業組合京橋支部

そして将来は地区内全印刷業者加盟にもっていきたいものである。

この組合員増強運動を通じてよい体験をすることができた。考え過ぎたり、批判もあると思うが、まず行動してみることに大切であると考え。それとこの運動の始めに新規加入業者の「仲間入り」しなかつたと言われた言葉を大切にしたい、私たちには仲間意識が足りないのではないか、この運動を進めるに当つても、いまの印刷組合には魅力が無い、加入してもメリットが全然ないと言われていますが、本当に魅力もメリットも無いのであろうか、最近のことであるが当地区組合員企業で永年勤めていた従業員が急に亡くなれば、組合の生命共済に加入していたので世間並の退職金がだせたと感謝されている。また、皆さんの記憶に新たな湊地区の火災で被災された組合員に心よく見舞金を拠出されたこと、共済に加入され相互扶助の精神を理解された「仲間意識」と言う魅力であり、メリットである。

組合の魅力やメリットは組合員自身が発見するものであり、求めるものではないと考える。更にこの運動を進めることによつて料金問題の解決、過当競争解消の手がかりとしたい。

「京橋の印刷」 二月号原稿募集

組合員の皆さんの機関誌として、皆さんに親しまれ、皆さんの手で育てていく為に家族、従業員を含め原稿を募集します。奮つてご応募ください。

内容 論説、技能、技術、体験、創意、工夫、営業などの情報交換、写真など。

締切 一月二五日

宛先 東京都中央区新富一―一六―八 (日本印刷会館三階)

注意 東京都印刷工業組合京橋支部 「京橋の印刷」と朱書してください。

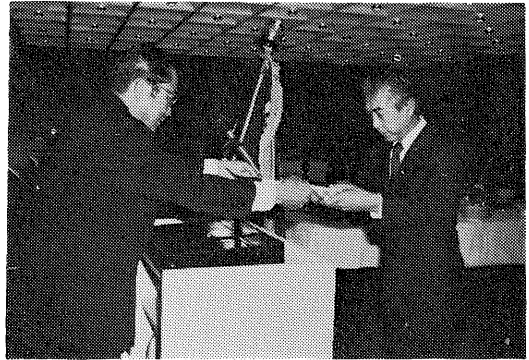
法律に基づく 事業者台帳の提出

例年おこなわれている業態調査(事業者台帳)の提出期日が迫っています。

昨年は各地区長・幹事さんのご苦勞と組合員皆さんのご協力により、当京橋支部は一〇〇%の回収ができました。

ご多忙の折、誠に恐縮ですが、本年も一月三一日までに地区長さんを通じて支部に提出をお願い致します。

尚、台帳用紙が昨年暮に配布されていますので粉失された方は、支部事務局にご連絡ください。

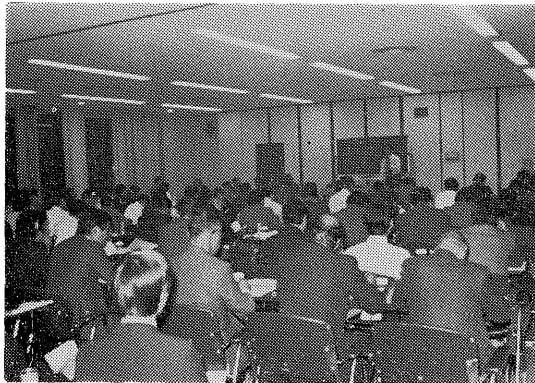


支部永年勤続 従業員表彰終る

昨年一月一日午後二時より京橋会館で支部永年勤続従業員の表彰式をおこなった。支部長より勤続者のこれまでの苦勞を勞い、今後を激励する挨拶があり、勤続五年〓五七名、同一〇年〓四八名、同一五年〓三八名の計一四三名の優良従業員が表彰を受け、記念品が贈られた。来賓として本部矢板理事長、伊坂支部顧問、清水中央厚生協組理事長の各氏から祝辞があり、白橋印刷所内堀富人氏が受彰者を代表して謝辞を述べ、小宴の後散会した。

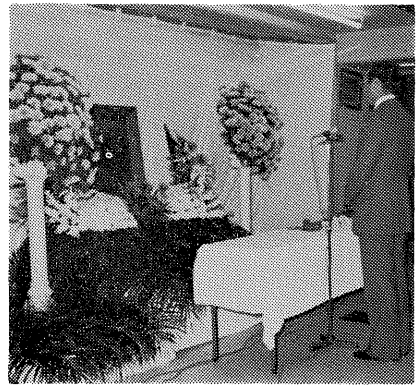
京 橋 日本橋 合同見積講習会

一月九日午後五時より全印健保会館にて京橋、日本橋支部合同の見積講習会を開催した。当日は京橋九五名、日本橋六〇名の事業主や営業部の社員多数が参加して、東京ビジネスウォームの折茂専務を講師として「フォーム印刷の見積り」について講習をおこなった。業界の過当競争が問題になっている折りから、みな熱心に受講し予定を約一時間超過する程であった。こんご買物、商業印刷等の見積講習会を開きたいと久保田支部長の挨拶で盛会裡に終了した。



物故事業主合同慰霊祭

京橋支部創設五周年の記念事業の一環として、印刷業界に多くの功績を残して物故した京橋支部の事業主合同慰霊祭が、一月一七日午後二時から印刷会館講堂で営まれた。



この合同慰霊祭は、遺族、組合員七〇余名が集り、顕彰額に入魂された銘板の九二名の氏名が読み上げられ、久保田支部長、来賓の矢板理事長、染野製本工組支部長、古槐文化産業信用組合京橋支店次長の各氏から追悼の言葉が贈られた。つづいて遺族を代表して伊坂一夫顧問より感謝の辞が述べられ、遺族、組合員参列者全員の菊の献花がおこなわれた。そして石沢厚生委員長らの献花で小宴がもたれ、生前の故人を偲んだ。

編集後記

▼支部の方針・活動状況、各種委員会、各地区の動きなど組合員の皆さんにお知らせし、皆さんのご意見、ご感想を戴き円滑な支部運営を計り、相互の親睦と交流の一助となるよう、巻頭のことばに副って編集し、皆さんと共に支部報を育てて行く覚悟です。

(編集委員一同)

▼「京橋の印刷」の編集委員という大役を仰せつかり大変な事に成ったと思う。今迄は余所から印刷物が来ても余り良く読んでない。己れが編集を担当するとなると多くの組合員に読まれなければと考える。しかも読まれなければ組合員から拠出願った貴い組合費の無駄使いなどと身勝手なものである。創刊号は幸いにして諸先輩方に執筆をお願い、久保田支部長のお骨折で難なく完成したが、次号からが大変である皆さんのご支援をお願いします。(石)

▼景気不況の折り皆様方には、ご苦勞の多い事と存じます。このような時節にこそ心に余裕を持って、お互いが人の意見に耳を傾けて研鑽するよい機会だと思えます。皆様のご寄稿、ご支援をお待ち申し上げます。(H・I)